

比例代表は「日本共産党」と政党名をお書き下さい

解説

2022年参院選  
比例代表予定候補紹介  
(1次分)

# 日本共産党

## 650万票、10%以上で比例5議席を

全国は一つ



北海道・東北・北関東  
岩 淵 とも  
**いわぶち友**  
参議院議員



東京・南関東  
たむら ともこ  
**田村 智子**  
党副委員長  
参議院議員



北陸信越・東海  
武 田 りょうすけ  
**たけだ良介**  
参議院議員



近畿  
だいもん 実紀史  
**大門みきし**  
参議院議員



中国・四国・九州沖縄  
仁 比 聡 平  
**にひそうへい**  
前参議院議員

選挙区予定候補  
(2021年12月末現在)



大阪(改選数4)  
**たつみコータロー**  
前参議院議員



兵庫(改選数3)  
**こむら 潤**  
党兵庫県国政委員長



京都(改選数2)  
**たけやま さいこ**  
党京都府女性部長

※地域名は主な活動地域



4期24年の長きにわたって近畿の皆さんにはとりわけお世話になりました。今夏の参院選の出馬を辞退しました。日本共産党の躍進のために、引き続き全力をあげてがんばる決意です。今後ともよろしく願っています。

参院選出馬を辞退しました  
党副委員長  
参議院議員 **市田忠義**

熱い心で  
政治を変える

経済論戦の  
第一人者



日本共産党・参議院議員(4期・比例代表)

活動地域 近畿(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山)

だいもん 実紀史

# 大門みきし

大門みきし国会事務所  
日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所  
2022年1月 部内資料

エッセイ集

大門みきし国会事務所  
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1参議院議員会館1203号室 電話 03(6550)1203 FAX 03(6551)1203  
日本共産党国会議員団近畿ブロック事務所  
〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンピース森ノ宮102号 電話 06(6975)9111 FAX 06(6975)9115

## — 目 次 —

- 参議院議員・比例代表候補・党参院国対副委員長  
大門みきしさんはこんなひと…………… 1
- 横顔インタビュー「大門さんって、どんなひと？」…………… 2

### 大門みきし エッセイ集

- 弱い人の味方やね…………… 4
- 社会主義でなにがわるい…………… 5
- 子供たちのためにも消費税減税を…………… 6
- さよなら麻生さん…………… 6
- 中村哲さんと「花と龍」…………… 7
- 竹中VS大門 エールの交換ならず…………… 8
- 「やくざに凶器だ」とダイヤモンド閣下…………… 9
- ホワイトトリボン…………… 10
- 霞が関の夜も更けて…………… 11
- 長崎の鐘がなる…………… 12
- さよならミョンソン…………… 13
- 議論に勝つには…………… 14
- 今日の抱っこは今日のうちに…………… 14
- 共産党にほめられるのも「勲章」…………… 15
- 笑いながらも階級闘争…………… 16
- 傘は自分でさすもの、人にさすもの…………… 16
- なにが自己責任だ…………… 17
- わかっちゃいるけど…………… 18
- いやなら、やめちまえ…………… 18
- 誠実さにおいて…………… 19
- 「生まれてきてよかったね」と…………… 19
- きょうの麻生さん、ちょっとカッコよかった…………… 20
- あたらしいいのち…………… 20
- 恋の病…………… 21

## 参議院議員・比例代表候補 党参院国対副委員長 大門みきしさんはこんなひと

2022年夏の参議院選挙で日本共産党は、市民と野党の共闘を発展させ、政権交代への足掛かりをつくるために、必ず前進する決意です。今回は「650万票、得票率10%以上」ー比例5議席の絶対確保を必ずやりきる目標として、近畿2府4県を活動地域にする比例代表候補は参議院議員（4期）の大門みきし（実紀史）さんです。

### プロフィール

【略歴】1956年1月、京都市生まれ。市立日吉ヶ丘高等学校卒。神戸大学中退。本家は大阪交野の造り酒屋。元東京土建本部書記長・全建総連中央執行委員。現在参院議員4期目。他党も認める経済論戦の第一人者。歴代首相、財務相を相手にした論戦には定評がある。

・家族は妻と二男

【役職】党参議院国会対策委員会副委員長。予算委員、財政金融委員、地方・消費者問題特別委員会委員。党建設国保対策委員会事務局長。党SDGsプロジェクトチーム事務局長。党中央委員

【著書】『ルールある経済ってなに？』『属国ニッポン・経済版』『新自由主義の犯罪』『カジノミクス』（いずれも新日本出版社）

【座右の銘】「意気に感じる心」

【趣味】絵本の収集。インスタグラムで紹介している。

【エッセイスト】フェイスブックなどの投稿は温かい人柄がにじみ出て大人気。

### この間、取り組んできたおもなテーマ、国会論戦

#### ◎経済論戦

小泉・竹中「構造改革」、アベノミクスなど新自由主義路線と正面から対決する論戦を展開。竹中元経済政策担当相とは50回以上、お互い顔も見たくないほど論戦し、「天敵」と呼ばれる関係に。アベノミクスでは、安倍元首相だけでなく日銀の黒田総裁と何度も論戦、株価つり上げのための「異次元の金融緩和」を批判し、撤回を迫った。

#### ◎消費税、税制問題

消費税率引き下げ、インボイス中止と格差是正のために大企業、富裕層への課税強化を求め続け、2014年に金融所得課税の10%から20%への引き上げを実行させた。タックスヘイブン問題も一貫して追及。

#### ◎中小企業、コロナ対策

東日本大震災時は中小企業庁と連携して被災地のグループ補助金を実現。コロナ禍では、現

場の運動と力を合わせ持続化給付金の創設、拡充に尽力。また京都企業組合の組合員を融資や給付金など中小企業施策の対象にさせた。

#### ◎損保代理店問題

大手損保による中小代理店いじめの問題を国会で繰り返し告発、是正させた（『週刊ダイヤモンド』が特集記事を掲載）。

#### ◎消費者・地方問題

ジャパンライフなど悪徳商法追及の第一人者。消費者保護に反する「書面デジタル化問題」の追及ではマスコミも注目（『日刊ゲンダイ』など）。スーパーシティ構想が監視社会につながる危険性を暴露。

#### ◎カジノ問題

2009年から反対の論戦を展開。被災地でのカジノ解禁を断念させるなど、全国の反対運動を励ましてきた。

## 横顔インタビュー「大門さんって、どんなひと？」

◎聞き手 マリリンと木田真理子さん  
(ネット番組「大門ゼミ」アシスタント・生徒役)

### 少年時代は「問題児」

マリリン 大門さんは京都の少年時代、相当の問題児だったと聞きましたが、本当ですか。

大門みきし 中学生のはじめの頃は学校も行かず、毎日、京都の新京極(繁華街)あたりをぶらついて悪さをしていました。担任の先生も見放すなかで、「ワシにまかせてくれ」と買って出してくれたのが、一生の恩師になった植山忠次郎先生でした。口はやかましいが心のとても温かい先生で、毎日、私の家へ来て「うどん食いにいこか」と連れ出し、きつねうどんを食べさせながら、コンコンと説教しました。私も先生の熱心さにコン負けして、何とか立ち直り、高校へも進学できました。



少年時代の大門さん

植山先生はいつも「男はなあ、意気に感じる心を忘れたらあかんで」といっていました。その時は言葉の意味はわかりませんでした。それ以来、私の座右の銘は「意気に感じる心」になりました。

### 夢は劇作家だった

マリリン 大学を中退し、東京で演劇をやっていたというのは本当ですか。

大門みきし 高校生のころから小説家か劇作家になりたかった。大学に入学したものの、ほとんど授業にも出ず、学生演劇に没頭し、21歳のとき、劇作家をめざして大学を中退し上京しま



した。何年か劇団を転々としてきましたが、時代が私の才能を理解できなかつたんでしょう。劇作家になるのは潔くあきらめました。

### 日本共産党に入ったきっかけは

マリリン なんか。あぶない人ですね。そんな大門さんが、なぜ日本共産党のようなまじめな政党に入ったんですか？

大門みきし うちの両親が離婚し、母が4人の男の子を女手一つで育て上げました。母が昼も夜も苦勞して働く姿をみて、もっと社会が助けてほしい。幼心にも冷たい社会というものを感じていたんだと思います(4ページ「弱い人の味方やね」参照)。

23歳のとき、たまたまアルバイトをしていた生活協同組合で食堂のおばちゃんから「しんぶん赤旗」をすすめられました。政治に無関心の青年でしたが、モノを読むのは好きだったので、毎日読んでいるうち、「世の中こうなっていたのか」と目からウロコが落ちる思いでした。3ヵ月ほどたった頃、どうしても共産党に入りたくなり、中央委員会に電話して地区委員会の住所を聞き訪問して入党しました。

マリリン ノンボリの演劇青年をいっぺんに変

えてしまった「しんぶん赤旗」って、やっぱりすごいですね。

大門みきし 真実を知ることが人生にとって最も大事なことです。孔子も「朝(あした)に道を聞かば、夕べに死すとも可なり」といっています。まだ死ねませんが。

### 思い出に残る論戦は

マリリン 大門さんの国会質疑は与党議員や歴代の大臣も評価していますね。思い出に残る論戦はどのようなものがありますか？

大門みきし やはり弱肉強食の新自由主義を日本で実行にうつした竹中平蔵さんとの論戦は忘れられませんね。当時、竹中さんは経済政策の担当大臣として、企業が儲かればやがてその利益が国民に回る(「ダムの水があふれるように＝ダム論」と主張していました)。

2001年11月の参院予算委員会で、私は非正規雇用を増やし低賃金構造を固定化し、回る回路を閉めておきながらデタラメを言うなど厳しく追及しました。「あなたは経済学者ですよ。理論的に説明してください」というと、かれは「先生は国会議員ですよ。国全体の経済がどうなるかトータルで示す必要があるでしょう」と言い返すというヒートアップを繰り返して、その論戦は長いこと参議院の語り草になりました。ただ、竹中さんと嫌でも論戦しなければならぬ立場になって、経済書を片っ端から読むなど、人生で一番勉強しました。そういう意味で今の私があるのは竹中さんのおかげです。

マリリン 麻生さんは暴言、失言の確信犯でとんでもない人でしたが、大門さんにだけは真摯な姿勢で、しかもよくいい答弁をしていましたね。麻生さんに好かれていたんですか。

大門みきし むこうの片思いです。経済政策の根本では大対決してきましたが、確かに個々の問題では、私の意見を取り入れてくれたこともあります。

16年5月の参院決算委員会で私は、「タック

スハイブン」を使った企業の課税逃れの仕組みを解説し、国税庁の対応を迫りました。それにたいし麻生さんは、「難しい話を簡単にしゃべるといのはなかなか頭がいる。大門先生って頭がいい人だと感心しながら聞いていました」と答え、そのあと国税当局にタックスハイブン問題を厳しく追及するよう指示しました。また中小企業問題では私の提案をよく聞いてくれました。

### 党を憎んで人を憎まず

マリリン 国会中継を見ていても、大門さんが出てくると議場の雰囲気やわらぐように感じます。「党を憎んで人を憎まず」とフェイスブックでも書かれたことがありますね。そのことと関係するのでしょうか。

大門みきし 自民党議員などの質問を聞いてみると、私たちと立場がちがうと思うときがたびたびあります。しかし私の勝手な解釈かもしれないけれど、その議員も、それまでの人生の経過と事情があってそういう世界観になったのだろう、自民党に入ったんだろうと。また有権者に選ばれて国会に来ている。自分の考えと違うからといって、相手を罵倒したり憎悪してはならないと思います。そうはいつても、人々を苦しめる政治に憎悪を抱くのは無理もない。ならば、せめて、党を憎んでも、人は憎まないようにしたい、そう思うだけです。

### いよいよ参院選

マリリン いよいよ参議院選挙。最後に大門さんの抱負と決意を聞かせて下さい。

大門みきし 新自由主義からの転換は、自公政治の大本を変えることです。政権交代がどうしても必要です。参院選に何としても勝利し、憲法9条を守り抜くとともに、今度こそ新自由主義を終わらせる転機にしたいと決意しています。

# 大門みきし エッセイ集

※フェイスブックで、いいねが1000をこえ、人気が高かったものを抜粋  
(主に2016年4月以降)

## 2010年5月10日 「弱い人の味方やね」(「母を語る」より)

母は女手ひとつで、四人の男の子を育てあげました。昼間は京都西九条のスーパーでパート、夜は先斗町(ぼんとちょう)の料亭で仲居として働きました。母が帰ってくるのは、いつも私が眠ってからでした。

小学三年生の頃でしょうか。

末っ子で甘えん坊の私は、母に会いたくて、夕暮れ時の鴨川ぞいを一時間ほど歩いて、母の働いている料亭の前まで行きました。

私を見つけると母は表に出てきて、「よく来たね」と笑って頭をなで、「早くお帰り」と電車賃を握らせました。

私が「一緒に帰ろう」というと、つよく抱きしめてくれました。そんなことが何度かありましたが、母は一度も私を叱りませんでした。

母のおかげで息子たちは大学に入り、社会人になりました。

あるとき母は、大企業に就職した兄たちより、共産党の活動をしている私のことをほめて



くれました。赤旗日曜版を見ながら、「みきしは弱い人の味方やね」といいました。

これから楽をさせてあげようと思った矢先に、母は65歳で亡くなりました。子供のためだけに生きた人生でした。

自分がなぜ共産党に入ったのかを思うとき、身を削って働いた母の姿が浮かびます。社会が、政治が、母のような女性をもっと助けてあげてほしかった。そういう政治にしなければと思いました。

今でも、夕暮れの街を歩いていると、ふと母と会うためどこかに向かっているような気がすることがあります。今度は私がつよく抱きしめてあげようと思いながら。



## 2021年12月14日 「社会主義でなにがわるい」

この間、野党共闘をつぶしたためか、マスコミの一部もふくめ日本共産党にたいする反共宣伝が多く見られます。

そのひとつが「社会主義だからダメ」という類いのもの。しかも社会主義を知らないで社会主義を非難する軽薄なものが多い。

西部 邁(すすむ)さんなど、むかしの保守の教養人は、社会主義を学んだうえで、一定のリスペクトを持って議論された。

いぜん参議院の委員会でソ連や中国のことをあげて社会主義攻撃をする議員がいました。学歴はすごいのに教養がまったくない。

わたしの質問のときに「ソ連や中国、あんなものが社会主義なら、わたしが共産党に入るわけがないでしょ」といったら、場内大ウケで、麻生太郎大臣まで手をたたいて大喜びしてくれました。

週刊『FLASH』(21年7月13日号)でも取りあげましたが、かつて竹中平蔵さんはわたしに「日本の政党は自民党の改革派と共産党だけがいい。あとは中途半端でいらぬ」という趣旨のことをいったことがあります。

自民党の改革派=新自由主義。日本共産党=社会主義の思想。つまり、新自由主義の対抗軸は社会主義の思想にあるということ。たまにはいいことをいうなとおもいました。

じっさい歴史的にみても、竹中さんのいうとおりです。

そもそも新自由主義の「自由」は人間の自由ではなく、企業がもうけを最大化する自由。

新がつくのは昔の自由主義があったから。昔の自由主義とは、資本主義が始まったばかりのころの資本主義のこと。18世紀半ば、産業革命が進行するもとで、なんの規制もない弱肉強食の野放しの資本主義が子どもや女性をふくめ労働者を過酷に搾取し、貧富の格差を拡大した。

マルクスはその資本主義を分析し『資本論』



を著し変革の道を示しました。社会主義運動が高揚しロシア革命がおこり、20世紀は西欧諸国でも一定の労働者保護、社会保障制度の整備がすすみます。

昔の自由主義と対決したのは、社会主義の思想でした。

しかし90年代はじめ、社会主義とは無縁の人間抑圧国家と化したソ連や東欧が崩壊すると、資本主義陣営は「社会主義は敗北した。資本主義の勝利だ」と歓喜し、ふたたび弱肉強食、野放しの資本主義へと向かいます。これが新しい自由主義=新自由主義の始まりです。

あれから約30年。新自由主義は、昔の自由主義同様に貧富の格差をいちじるしく拡大しました。

とくに新自由主義先進国のアメリカでは、貧富の格差が社会問題化し、若者たちは新自由主義と対抗する思想を求めて、社会主義を学ぶサークルに参加していきます。

やがてそれは「民主的社会主義者」を自称する民主党のサンダース議員を大統領にという「サンダース」現象をうみました。

その社会主義的な潮流はバイデン大統領の誕生にも大きく貢献し、バイデン政権の大株主や大企業に課税を強化し、その財源で国民生活を充実するという新自由主義からの転換政策につながって来たのです。

つまり昔の自由主義も、今の自由主義も、それと正面から対決し是正させてきたのは、社会主義の思想だということなのです。

## 2021年10月21日 「子供たちのためにも消費税減税を」

このまえ「消費税を減税した62ヶ国」のパネルをかかげて演説していたら、小学生たちが寄ってきて「おっちゃん、それちょうだい」というので、「あかんねん、これおっちゃんの商売道具やねん。日の丸がついたらあげるわ」とこたえました。



※図は2022年1月5日現在

## 2021年10月6日 「さよなら麻生さん」

きのう議員会館の食堂で財務省OBのAさんとぼったり会い、おなじテーブルで食事をしました。

「麻生大臣がお辞めになってさみしいでしょう」とAさん。「麻生さんと大門議員との質疑は財務省のなかでも人気で、みんなよく見ていましたよ」とも。

麻生太郎さんはいくつになっても暴言と失言をくり返す反省のない人でした。「オレは生まれはいいが育ちは悪い」と自分で言いながら、マフィア風ファッションで悪ぶっていたのは、大久保利通、吉田茂というエリート家系のお坊ちゃんと思われたくなかったからでしょうか。

格差を広げたアベノミクスを支えたという点でも罪深い。経済財政の根本問題では麻生さんと正面から対決した8年9か月でした。

ただ、従来の財務大臣とちがいで、麻生さんは、現場の金融、中小企業問題にかんする私の告発や提案に耳を傾け、具体的に動いてくれたことも数多くありました。「大物」ですから、動くに影響は大きく、助けられた人たちも少なくない。そんな時は素直にお礼を言うようにしてきました。



庶民蔑視を平気で口にする麻生さんと、私の話を真面目に聞き現場の力になってくれた麻生さんのギャップはいったい何だったんだろう。

いまだに不思議です。

Aさんと色々話していて、思い出したエピソードが一つ。

何年か前の参院財政金融委員会。私の質問中に麻生さんはトイレに行きたくて急に席を立ってしまいました。自分に対する質問はもう終わったと勘違いしたらしい。じつは最後に大臣への質問が一つ残っていて通告もしていました。質問しようと思ったら麻生さんがいないので、どうしようかと思ったのですが（通常なら委員会ストップ）、それまでの流れからアバウトな麻生答弁より局長答弁で固めた方がいいと判断し、局長に質問して質疑を終わらせました。

もどってきた麻生さんは、事務方から大門議

## 2021年8月31日 「中村哲さんと『花と龍』」

混乱がつづくアフガニスタンのニュースをみるたびに、2019年12月に現地の武装集団に銃撃され亡くなった医師、中村哲さんのことを思い出します。

2008年の秋、都内でひらかれた中村哲さんの講演を聞きに行ったことがあります。

中村哲さんは水があれば多くの命が救えると、PMS（平和医療団・日本）のスタッフや現地の住民とともに、長年にわたってアフガニスタンでの水路建設に取り組み、悪戦苦闘の末、完成させました。

「一隅を照らすというのは、一つの片隅を照らすこと。高邁なことより、自分の身の回り、出会った人、出会った出来事のなかで最善を尽くすことが大切です」。講演のなかでそんなお話をされたこと記憶しています。

中村哲さんは、テロ特措法にかんする国会審議の参考人として2回、国会に招致されたことがあります。ア「アフガニスタンに必要なのは飢餓からの解放であり軍事ではない、自衛隊の

員の質問が残っていたと聞きびっくり。委員会終了後、廊下を歩く私を麻生さんが走って追いかけてきて、後ろから抱きついて「ごめん！」と。

見ていた国会職員から「麻生大臣の共産党議員への抱きつき事件」と笑われましたが、あときの背中にくすぐったい感触は今でも夢に出ます。

いずれにせよ、経済財政の根本政策を変えるには政権交代しかありません。

そういう意味でも、麻生さんと今後あいまみえることはないでしょう。

さよなら麻生さん。



『せかいいち うつくしい ぼくの村』（小林豊）

派遣は有害無益」と一貫して主張されてきました（2001年10月13日衆議院特別委員会、2008年11月5日参議院外交防衛委員会）。

中村哲さんは「戦よりも食料自給」をかかげ、水路建設によって実際にアフガニスタンに広大な農地を生み出しました。

『希望の一滴』（西日本新聞社）の中で、中村哲さんはつぎのようにのべています。

「『野の花を見よ。栄華を極めたソロモンも、その一輪だに如（し）かざりき』とは、新約聖書の最も美しい一節である。国益だ、正義の戦争だ、軍隊の増派だのと、騒がしい世界とは無縁なところに平和に生きる道が備わっているのだ。私たちもまた必死だ。世界でなにが起きようと、ひらすらシャベルを振るい、水を送って耕し、その日を無事に過ごせたことに感謝する」

いまアフガニスタンの平和、復興にとって最も必要なことは人びとの食料と生業を安定させること、そのための国際支援ではないかとおもいます。「いまこそ中村哲に学ぶ」といいたい。

1980年ころからの戦争が始まる前のアフガニスタンは、絵本『せかいいち うつくしい ぼくの村』（小林豊/ポプラ社）で描かれているように、平和で自然に恵まれた国だったのですから。

ところで中村哲さんの父は大正時代の社会主

義者で、母も宮本百合子を愛読するような人だったそうです（『人は愛するに足り、真心は信ずるに足る』中村哲、澤地久枝、岩波書店）。

また中村哲さんの祖父は、火野葦平の小説『花と龍』の主人公で実在の侠客、玉井金五郎です。高倉健さん主演の映画にもなりました。

大正時代、玉井金五郎は、北九州若松港で荷役作業をする港湾労働者の生活向上のために組合を結成しようとし、それに反対する組に襲われ、体じゅうに三十数か所の刃傷をうけます。

弱い者のために立ち上がる「親分肌」のところは中村哲さんに引き継がれているようです。写真を見ると、お顔までそっくりなのは驚きました（前掲書）。

わたしの母方の祖父も大正時代の京都の侠客でした。中村哲さんの任侠の血がアフガニスタンの広大な農地を切り拓いたのかも知れないとおもうと、哲さんへの親近感がさらに深まります。

## 2021年7月1日 「竹中VS大門 エールの交換ならず」

6月24日、竹中平蔵さんが自身のYouTubeチャンネルで「日本共産党さん、がんばってください」とエールを送る動画をアップされました。

それを見た週刊「FLASH」の記者が、かつての「天敵」としてどう思うかと、わたしに意見を聞きに来ました。

十数年前、竹中さんは経済政策の担当大臣としてわたしと連日、真剣に論戦していました。

2006年、小泉内閣が終わり、竹中さんが大臣も自民党参院議員も辞められて、慶応大教授にもどられたとき、もう民間人だからと誘われて、一緒に食事をしたことがありました。



週刊「FLASH」2021年7月13日号より

二人の経済論戦をふり返りながら、立場は正反対でも、楽しい時間が過ごせました。対決軸は新自由主義と共産党にあると「意気投合」し

ました。

あのあと、学者に専念されるのかと思ったら、自らビジネスの世界に入られた。お金もうけというより、自分の理論を実業の世界で試してみたかったのでしょうか。

しかしそれなら、あくまでも自力で展開してほしい。政府の審議会の委員になり、政府の仕事を受けるのはフェアではない。だから週

## 2021年5月22日 「『やくざに凶器だ』とダイモン閣下」

きのうの本会議での特定商取引法等改正案への質問。どういうわけか、今まででいちばん他党からの声援、拍手が多かったです。

立憲民主党の女性議員は「ダイモン閣下、圧巻でした」といってくれました。デーモン閣下をもじったんですね。

きびしく追及された井上信治消費者担当大臣にとって、わたしはデーモン（悪魔）に見えたかもしれません。

ちなみにギリシャ神話に出てくるダイモーン（daimōn）は守護神だそうです。

以下、質問の要旨です。

日本共産党の大門実紀史です。会派を代表し質問します。

本改正案は全体としては消費者保護のために必要な改正ですが、昨年末、急きょ盛り込まれた書面交付の電子化は大問題です。

今まで訪問販売やマルチ商法など消費者被害の多い取引にかんしては、契約書は紙の書面で交付することが義務づけられてきました。ところが今回の改正案では、業者がメールなどで送りつけた電子書面に承諾のボタンを押せば契約が成立したことにするというのです。

ジャパンライフ事件では、全国のお年寄りを中心に約1万人の被害者から2100億円ものお金がだまし取られました。

しかしほとんどのお年寄りはだまされていることに気づかず、家族がお金が減っていること

刊誌にも政商などと書かれる。それはわたしにとっても残念なことです。

竹中さんのエールにたいし、ふつうならお礼の一言もいうべきですが、そんな気持ちになれず、辛口の批判をしてしまいました。

十年後くらいに、お互い今の仕事を終えたら、もういちど経済のはなしをしてみたいとおもっています。

を不審に思い、タンスの中を調べたらジャパンライフの契約書が見つかり、被害が発覚したという事例が数多くありました。

また契約書が紙で残っていたからこそ弁護士さんたちがジャパンライフを訴えることも出来ました。紙の契約書が様々な場面で消費者被害を食い止めてきたのです。

スマホの小さな画面で膨大な契約書を確認することは、高齢者にとって容易ではありません。スマホやタブレットなどに保存された契約書を周囲の人が発見することも難しい。消去してしまう可能性もあります。また一定期間内に契約書をダウンロードしないと消えてしまう方式も現在広く行われています。

そんな中で悪徳業者に電子書面での契約を許すなど、やくざに凶器を与えるようなものです。

現在、160をこえる全国の消費者団体、弁護士会などから、書面交付の電子化に反対する意見書が上がっています。消費者庁提出の法案に対し、現場からこれだけの反対の声が上がるのは、前代未聞、消費者庁始まって以来のことです。

井上大臣、日夜、消費者相談の現場でご苦労されている方々から猛反対されるような法案を提出したこと自体、消費者担当大臣として、すでに失格ではありませんか。答弁を求めます。

そもそも井上大臣はなぜ書面の電子化を入れ



たのか。複数の関係者からヒヤリングをしてわかりました。

当初、事務方は規制改革推進会議から要望のあったオンラインの英会話教室など一部の事業者だけに契約の電子化を認めることを考え、井上大臣に報告したところ、大臣から「言われたことだけやるのではなく、自らすすんで全部やれ」と指示をされ、特商法における全ての契約を電子化することになったということです。

井上大臣に聞きます。菅総理がデジタル化、すなわち紙をなくすことを看板に掲げるもので、あなたは消費者よりも総理の方向をむい

て、紙をなくした成果を示したかったのではありませんか。だから特商法にまで書面の電子化を入れ込んだのではありませんか。明確にお答えください。

しかし、その菅総理は、3月26日の財政金融委員会での私の質問に対し、「(特商法の書面の電子化について) 承知していなかった。指摘があったので検討させてもらいたい」と答弁されました。

つまり、菅総理でさえ望んでいないことを、あなたが勝手にやってしまったのです。

30日の同委員会では、麻生財務大臣も私に「ご指摘のとおりだ。井上大臣に大門先生に相談したらどうかと言っておいた」と答えました。

菅総理や麻生副総理からの指示は、政省令でしっかり歯止めをかけなさい、ということだったと聞いています。

しかし政省令では被害の拡大を確実に防げる保証はありません。本気で被害防止を考えるなら、そんな小細工を弄するより、書面電子化の部分をきっぱり法案から削除すべきではありませんか。

井上大臣の猛反省と書面電子化の削除を求めて質問を終わります。

(このあと大臣は聞いたことに何一つともに答えず、議場を去りました。政権の劣化を強く感じました)。

## 2021年2月15日 「ホワイトリボン」

アメリカの女性参政権運動以来、白色はジェンダー平等のシンボルカラーになっています。

2月9、10日、衆参の野党議員は、森喜朗氏の女性蔑視発言に抗議するため、白い服や白バラを身に付けて本会議にのぞみました。

私はバラではなく、白いハンカチをリボンのような形にして胸ポケットに押し込み議場に入

りました。ところがリボンには見えなかったようで、「大門さん、ハンカチぐにゃぐにゃですよ。直してあげましょうか」と他党の女性議員に笑われました。

ぴしっとしたホワイトリボンを用意すればよかったです。

4年前、渋谷の小さな映画館でカナダ映画

『静かなる叫び』を観ました。

1989年にモントリオール理工科大学で実際に起きた女子学生射殺事件を題材にした映画です。犯人の25歳の男、マルクはライフル銃で女子学生ばかり28人を銃撃。うち14人を殺害したあと、自殺しました。

マルクは子供の頃から父親に肉体的な虐待を受けるとともに、徹底した女性蔑視の思想を植え付けられました。

名門モントリオール理工科大の受験に失敗したマルクは、自分の人生がうまくいかない理由は女性の高等教育や社会進出にあると思込み、犯行に及んだとされています。

「自分たち男性には女性への暴力に反対の声を上げる責任がある」-この事件をきっかけに、男性が主体となった女性差別反対のホワイトリボン運動がカナダから始まり、世界に広がりました。日本にも「ホワイトリボンキャンペーン」の運動があります(2月12日付「しんぶん赤旗」が紹介)。

ホワイトリボンには、男性の自分自身への問いかけが込められているのです。

事件で重傷を負った機械工学専攻の女子学生



滋賀県で

バレリーは、回復して念願の航空会社の設計士になります。

彼女は後遺症に苦しみながらも結婚、妊娠し、映画のラストシーンでこう語ります。「男の子が生まれたら愛を教えます。女の子なら世界にはばたと教えます」。

## 2021年1月21日 「霞が関の夜も更けて」

きのう、A省の中小企業担当課長のTさんが昨年12月で突然退職されたと聞いて、とても驚きました。

Tさんは、コロナ禍から中小事業者を守るために、緊急融資や持続化給付金の創設など最前線でがんばって来られました。

定年はまだ先なのに中途退職された理由は周囲もよくわからないとのこと。

休日返上で朝早くから夜中まで激務をこなしていたので、心身ともに疲労が蓄積したのでしょうか。



充や、企業組合の事業者の救済などに尽力してくれました。Tさんの働きで助かった人はたくさんいます。

しかし持続化給付金は事業者全体をカバーするものではなく、給付までの時間もかかったことから、現場から不満の声が絶えることはありませんでした。

Tさんは運動団体の交渉や野党合同ヒヤリングで、いつも批判の矢面に立たされ、時には一部の議員から口汚く罵倒されることもありました。

持続化給付金の不備はTさんではなく、安倍政権の責任です。責められるべきは安倍首相（当時）と政権・与党の政治家たちです。

ある時、疲れきった様子のTさんに「400万人も給付されたのだから、一息ついたと喜んで

いる人も大勢いますよ」と言うと、「そう言っただけで」と、笑顔を見せました。

霞が関の官僚のみなさんは、政権にすり寄って悪い役割を果たす人も一部にはいますが、ほとんどは世のため人のために働きたいと真剣に考えている人たちです。官僚全員を自民党の手先のように見下して敵視するのは間違いです。

野党連合政権を実現し前に進めるには、官僚のみなさんを信頼し、良い方向で存分に力を発揮してもらう必要があります。霞が関を大きく受け入れる度量が今から私たち野党に求められていると思いました。

それにしても今頃、Tさんはどうしているのでしょうか。「コロナが収束したら飯でも食べましょう」とA省の若い職員さんに伝言を頼みましたが、返事は来るでしょうか。

## 2020年10月25日 「長崎の鐘がなる」

核兵器禁止条約の批准国・地域が発効に必要な50に達した！のニュースに、胸が熱くなりました。

長崎の鐘が鳴っているような気がしました。

先週のNHKの朝ドラ『エール』では、長崎の原爆投下後のことを記録した永井隆医師の手記『長崎の鐘』にまつわるエピソードが取りあげられていました。主人公の作曲家が、映画『長崎の鐘』の主題歌をつくるため、作者の永井医師に会いに行く話でした。

主題歌『長崎の鐘』の詞をつくったのは、サトウハチローさんです。

こよなく晴れた青空を  
悲しと思うせつなさよ  
うねりの波の人の世に  
はかなく生きる野の花よ  
なぐさめ はげまし 長崎の  
ああ 長崎の鐘が鳴る

サトウさんの詞には、原爆を直接描写した部分はどこにもありません。それは当時の米軍が



浦上天主堂

検閲し原爆の描写を許さなかったからです。しかしそのことが、かえって詩の意味を深く悲し

くしています。

学生時代、長崎に一人旅をして、浦上天主堂に立ち寄った帰り、駅前の書店で文庫本の『長崎の鐘』を買いました。汽車のなかでボロボロ泣きながら読んだことを思い出します。

長崎医科大学（現長崎大学医学部）助教授だった永井医師は、被爆で妻を亡くし、自らも重症を負いながら、日夜、被爆者の救護にとりくみました。『長崎の鐘』では、破壊された長崎の町や死んでゆく同僚や市民たちの様子が克明に描かれています。

『長崎の鐘』を読んでもなお、核兵器は必要だ、抑止力だと確信する人間がいるのだろうか。

※『長崎の鐘』最終章「原子野の鐘」より  
「ちしろ、ちしろ、と虫が鳴く。抱き寝の茅

## 2020年10月15日 「さよならミョンソン」

私の初恋の人はミョンソンという名前の美しく聡明な在日コリアンの女の子でした。

京都の小学校の5年生の時、道で自転車を直してあげたのがきっかけで仲良くなり、ミョンソンの家にもよく遊びに行きました。

こわいハラボジ（おじいさん）がおられて、「なんでおまえらは朝鮮の子をいじめる。日本人の祖先は大陸から渡ってきた。元をただせば、みな兄弟やないか」と、何度も説教されました。ボクはいじめてへんよとおもいながら、いつもだまって聞いていました。

オモニ（お母さん）は美味しい玉子雑炊を作ってくれる優しい方でした。

その後ミョンソンは朝鮮中学校に進み、私と会ってくれなくなりました。手紙を出しても返事がきませんでした。

それからほぼ半世紀後。2015年の大阪都構想の住民投票のとき、住吉区で地元の方々と反対の宣伝活動をしている姿をフェイスブックに投稿したら、ミョンソンからメッセージが届きま

乃がしきりに乳をさぐる。さぐりさぐって父だと気づいたか、声をころして忍び泣きを始めた。泣きながらやがてまた寝息にかわる。私だけじゃない。この原子野に今宵いま幾人の孤児が泣き、やもめが泣いていることであろう」

「カーン、カーン、カーン、澄みきった音が平和を祝福してつたわってくる。人類よ、戦争を計画してくれるな。原子爆弾というものがある故に、戦争は人類の自殺行為にしかならないのだ。原子野に泣く浦上人は世界に向かって叫ぶ。戦争をやめよ。ただ愛の掟に従って相互に協商せよ。浦上人は灰の中に伏して神に祈る。ねがわくば、この浦上をして世界最後の原子野たらしめたまえと。鐘はまだ鳴っている。原罪なくして宿り給いし聖マリアよ、おん身により頼み奉るわれらのために祈り給え」

した。

「大門君、お久しぶりです。今は大阪の生野区で、娘と孫と暮らしています。大阪市にはとてもお世話になったんです。なくさんといて」と。

また私のカジノ追及の国会中継を見たときは、「大門君の正義感は小学生の時と少しも変わらへんね。だから共産党なんやね」とメッセージをくれました。

いつか会いたいと思っていたのですが、先日、京都の友人から、今年の春に病気で亡くなったと聞きました。

会っておけばよかった。なぜ中学生になったら離れていったのか、大阪市にお世話になった話も聞きたかった。きっと色んな苦労があったんやね。

明日は、大阪で「大阪市なくすな！」の街頭宣伝をしてまわります。ミョンソンの分も訴えてきますね。さよならミョンソン、安らかに。

## 2020年4月6日 「議論に勝つには」

いまから19年前のことです。

国会に来て初めての総理大臣質問（当時は小泉純一郎さん）。とても偉そうな態度と話し方で質問してしまいました。「あんたは」とか「何をいってるんだ」とか、敬語も丁寧語もない。ただ大声で怒りにまかせて追及していました。

緊張の裏返しだったのか、それとも人間が見えていなかったのか。

テレビ中継を見ていた不破さんから、ある方をつうじて、若い新人議員が総理大臣にたいして失礼な態度だと、お叱りの言葉がとどきました。

それから色々経験し、考えさせられることもたくさんあって、他党の人もその人なりの生い立ちと理由があってそこにいるのだから、相手への憎悪におちいつてはならない。「党を憎んで人を憎まず」とおもうようになりました。

アメリカの最高裁判事ルース・ベイダー・ギンズバーグさん86歳。

彼女は弁護士として長年、性差別の裁判にたずさわって来たジェンダー平等運動の先駆者で、アメリカで最も尊敬される女性といわれています。

彼女を描いたドキュメンタリー映画『RBG（ルース・ベイダー・ギンズバーグ）最強の85歳』（2019年）では、数々の名セリフが飛び出します。

「男性のみなさんお願いします。私たちが踏み続けているその足をどけて」

「淑女であれ、そして自立せよ」

「法廷は天候に左右されないが、時代の空気には左右される（だから世論を変える運動が大事）」

ギンズバーグさんのつぎの言葉も強く心に残っています。

「議論に勝つには大声を出さないこと。大声を出すと、相手が話し合いに応じなくなり、自滅してしまいます」

余分な肩の力を抜いて、今日もがんばろうとおもいます。



和歌山県で

## 2019年9月5日 「今日の抱っこは今日のうちに」

お母さん、お父さんに、ただ抱きしめてほしかっただけなのに…それもかなわぬまま、親の身勝手に、幼い命が奪われるという痛ましい事件があいついでいます。

子どもは親のモノではないぞ。

そんなことを思っているとき、読んだのが、池添素さんの新著『いつからでもやりなおせる子育て第2章』（かもがわ出版）。

子どものことは、子どもの心の側から考えることの大切さを教えてください（以下抜粋）。

◇ ◇ ◇

子どもは抱っこが大好きです。…「抱っこしてほしい」攻撃に困っているママやパパには、「そんなに甘やかしていいの？」という声に負けないで、子どもが「もういい」と来なくなるまで、思いっきり抱っこしてあげてほしいのです。…

がんばったら、そのごほうびに抱っこしてもらえる「がんばればごほうび抱っこ」も気になります。がんばらないと抱っこしてもらえないなんて悲しすぎます。…抱っこしてほしいさに、気持ちをどんどんすり減らしてがんばるようになると、無条件で甘えることを子どもは忘れてしまいます。…

子どもが望んでいるのは、あくまで抱っこをしてほしい時に、おとなが子どもの気持ちを理

解して、無条件に実現される抱っこです。がんばらなくても、「アトデ」と言って待たされないで「スグニ」実現する抱っこです。…

子どもが必要とするときに、子どもが求めるだけ抱っこしてもらえれば、どの子も必ず抱っこを卒業していきます…

むしろ私は「抱っこしてほしいのに、してもらえなかった」という宿題をたくさん残して大きくなるほうが心配です。

今日の抱っこは今日のうちに。やり残した抱っこの積み残しがないように。

◇ ◇ ◇

「G. Gー！抱っこ！」

（うう、重くなった。が、もう少しがんばろう。可愛いから）

## 2019年5月20日 「共産党にほめられるのも『勲章』」

先週、元経済産業省・官僚のKさんと久しぶりに会いました。

2011年の東日本大震災のとき、被災事業者のための「グループ補助金」や債務免除のしくみをつくるために、一緒に汗をかいた仲です。

Kさんがいいました。

「いま首相官邸への付度（そんたく）がひどいと霞が関が批判されていますが、政権の意向を気にすることは前からあったことです」。

「けれど、共産党さんからほめられることも、私たちにとって1つの勲章なんですよ」と。

「今だからいいですが」と教えてくれました。

わたしが「グループ補助金」の質問の際に、「中小企業庁（経産省）はよくやっている」とほめたことがありましたが、その国会中継を見ながら、中小企業庁の職員さんたちが「やった！」と声をあげたり、ガッツポーズをしたそうです。

いつも霞が関をきびしく批判している共産党

から評価されることは、官僚たちにとって、自分は本当にいい仕事をしたのだという確信をもてる、ある意味で「心の勲章」のようなものだったとか。

そういえば、貸金業法改正のときにサラ金業界の意向をうけて巻き返しをはかる自民党議員に毅然と抵抗したベテラン官僚のHさん、被災地の復興のために現地で不眠不休でがんばった若手官僚のFさん、悪徳商法ジャパンライフ追及と一緒にとりくんだSさん、大手損保業界より現場の中小代理店を守ろうとしてくれたEさんやOさん、そのつどきちんとお礼をいい、評価してきたからか、いまでも仲がいいです。

官僚全員が「付度」で腐っているわけではない。

大事なことは、霞が関を自分のおもいのままに動かそうとする専制・安倍政権そのものを倒すことだと、あらためておもいました。

## 2019年3月20日 「笑いながらも階級闘争」

きょうの参議院財政金融委員会。

維新の会の藤巻健史議員（著名な株式トレーダーでたいへんな資産家）が麻生財務大臣にこう質問しました。

「きのう大門先生さんから、格差是正のためにも富裕層に課税すべきだという話がありました。富裕層はそんなに数がいないから、課税しても大した税収になりません。それより消費税で国民多数から取ったほうが税収になる。大門先生のことは好きですが（場内爆笑）、金融課税はやめるべきだと思うが、大臣どうですか」

麻生財務大臣「…財務省としては、やはり所得の再分配は重要だと考えております」

そのあと、わたしが質問でしたので、冒頭、こういいました。

「さきほど、格差是正についてお話がありましたので、ひとこと申し上げます。私も藤巻さんのことは好きですが（場内爆笑）、藤巻さんと私の間そのものに、所得格差があるわけ（爆笑）、とらえ方に違いがあるのは仕方ありません。まあ、階級闘争ということでございます（大爆笑）」

いちばん大笑いしていたのは麻生大臣でした。

笑いながらも、じつは久しぶりに階級闘争を実感した場面でした。

## 2019年3月16日 「傘は自分でさすもの、人にさすもの」

街頭演説をしていて、雨が降ってくると、思い出すことがあります。

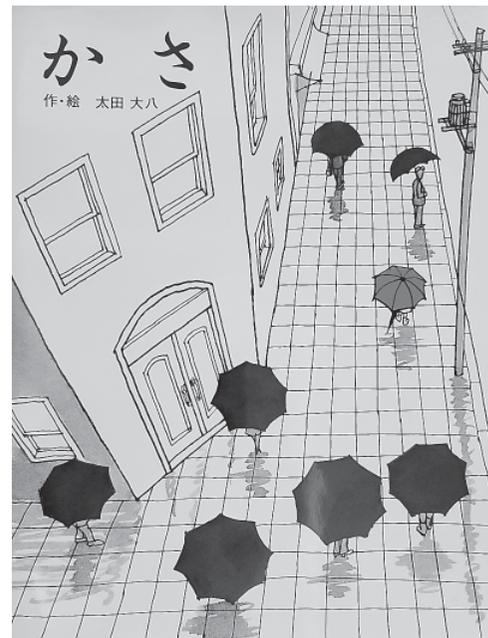
参院議員になって間もないころ、栃木県のある町でたたかわれている町会議員選挙の応援にいきました。

県道ぞいに宣伝カーをとめて、演説をしていたら、ぱらぱらと雨が降ってきました。アナウンサーの女性が、わたしの後ろから透明のビニール傘をさしてくれました。

そのころは演説に慣れていなくて、右手にマイク、左手に原稿メモを持って話していたので、自分で傘はさせないし、弁士は人に傘をさしてもらうのが普通だとおもっていました。

ところが候補者である男性町議さん。もう8期もつとめてこられたベテランの大先輩ですが、これくらいの雨は傘などいらないと、傘をささないで演説をはじめました。

だんだん雨足が強くなってきたので、アナウンサーの女性が後ろから傘をさそうとする、それを引き取って、自分で傘をさしながら話を



『かさ』（太田大八）

続けられました。

まわりは畑で、聴衆はおもに野菜たち。時おり水しぶきをあげて車が通り過ぎていくだけです。

だれに見られていたわけでもないのですが、濡れながら自分で傘をさして話す町議さんに比べ、偉そうに人に傘をさしてもらって話していた私がとても恥ずかしくおもいました。

そのあとの休憩時間。町議さんのお宅で、おいしいお茶と漬物をごちそうになりました。温厚な方で、地域の人びとのくらしがどうなっているかゆっくり話してくださいました。こんな田舎でも共産党が頑張らないと困る人がいるんですよ、と言われました。

議員たるもの少々の雨で傘などさすな。濡れ

## 2018年11月5日 「なにが自己責任だ」

小学生の頃、友だちとお寺の境内でキャッチボールをしていて、わたしが投げたボールが本堂の仏さまの顔に当たったことがあります。住職がとても怒って、親まで呼び出して説教をしました。

説教から帰ってきた母は「しつこい、なまぐさ坊主や」と笑っていました。

しかし、わたしが「〇君が受けてくれるとおもって投げたんや」といいわけすると、母はきゆうにこわい顔をして「人のせいにしたらあかん」と、わたしをきつく叱りました。

それ以来、自分の責任を人に転嫁しないことが自己責任の意味だとおもってきました。

ところが昨今の日本では、人に責任転嫁するどころか、よかれとおもってしたことでも、失敗したら自己責任だとバッシングされる。

「自己責任論」のルーツは新自由主義にあります。新自由主義者によれば、市場は「神の見えざる手」（アダム・スミスの「自由放任」を俗化）によってコントロールされており、失敗したり競争で負けたのは本人の責任だというわけです。

競争に負けた人びとが、新自由主義や支配体制に矛先をむけるのではなく、すべて自分の責任だとかんがえてくれることが、もうけのシス

ながら聴いてくれている人がいるかもしれないのだから。雨が強くなっても、傘は自分でさしなさい。そもそも議員の仕事は人に傘をさすことなのだから…。

町議さんは何もおっしゃらなかったけれど、傘1つのことで、いろんなことを教えていただいた気がしました。

あれから十数年。また地方選挙の時期がやってきた。地に足をつけて、人の傘になろうと頑張る議員や候補者がたくさんおられる。これこそJCP（日本共産党）の誇りです。

テムを維持するために必要なのです。

しかし、新自由主義が信奉する「神の見えざる手」の正体とはなんでしょう。

ノーベル経済学賞を受賞したアメリカの経済学者、ジョージ・A・アカロフとロバート・J・シラーは共著『不道德な見えざる手』のなかで、市場とは「釣り師が人の弱みにつけ込み、カモを釣る競技場」に過ぎないと指摘しました。

自由市場は「神の見えざる手」ではなく、どん欲な釣り師の「不道德な見えざる手」によって支配されているというのです。

釣り師が釣られたカモに「釣られたのはおまえがバカだからだ」といい、釣られなかったカモは釣られたカモに「釣られたのはおまえがマヌケだからだ」という。

みんなで釣られたカモの自己責任だけを問うことになれば、人の弱みにつけこんだ釣り師の悪徳は永遠に免罪されることになってしまいます。

自己責任だと自分を責めて苦しむ人のどれだけ多いことか。命を絶った人もいます。

なにが自己責任だ。

こんな不公正な社会で、自己責任なんて考えすぎる必要はないとおもいます。

## 2018年6月23日 「わかっちゃいるけど」

兵庫県加古川市の市議選応援を終え、東京に戻るまえに姫路で昼食をとろうと、駅近くの定食屋さんのようなお店にはいったら、なんと真っ昼間からみんながお酒を呑んでいる「昼呑み」のおでん屋さんでした。

ま、いいか。

カウンター席に座ると、となりのおっちゃんがシワだらけの顔でコップの冷酒をすすりながら、競馬新聞に赤ボールペンで印を入れていきます。

そうだ、明後日の予算委員会はカジノがテーマで、競馬など公営ギャンブルにもふれる予定。これはチャンス。おっちゃんに実際の競馬のしくみを教えてもらおうと話しかけてみました。

ところが競馬そのものより、おっちゃんの人生をえんえん聞かされるはめになり、おかげで戻りの新幹線も1時間遅らせることに。

「競馬にはまらんかったら、いまごろは一人娘と一緒に暮らしてた」「わかっちゃいるけど、やめられへん。アホやねん」「ところであんた何もんや？」

(だいもんや。あさって、テレビ見てね)

ひとは誰でも弱いところがあります。その弱さにつけこんだ方がわるいのか、つけこまれた方がわるいのか。

たしかに自分をもっと強くもってほしいけれど、政治というものは、やはりひとの弱さにつけこむ方をただすべきだと、酔いがまわって少し眠そうなおっちゃんをみておもいました。

## 2018年1月27日 「いやなら、やめちまえ」

久しぶりに『朝まで生テレビ』に出演。あまり出たくなかったのですが、党広報部に「経済がテーマ。大門さんしかいない」とおだてられ、つい出てしまいました。

案の定、ひどかった。討論番組というより、田原さんの独演会。とにかく自分が気に入る話しか受けつけない。今回も、やっとなんかに発言させたとおもったら、「志位さんが竹槍で国を守るといった」とか「共産党は言論の自由がない」とか、話題とまったく関係のないことを言って、発言をさえぎろうとする。そもそも発言させる気がないのなら、なぜ呼んだのか(それでも6、7回は発言をしました)。

いちばんひどいとおもったのは、「働き方改革」について、視聴者の声を紹介するコーナーのとき。職場で辛い目にあってる若者の訴えにたいし、経済評論家の高橋洋一氏が、「いやなら、やめちまえ」と笑うと、田原さんも「そ

うだ、やめりゃいい」と同調。ふたりの声はマイクに入らなかったかもしれないけれど、こんな人たちに若者の働き方を議論する資格はないとおもいました。

ああ、早く帰って寝たい。

番組も終わりかけのとき、司会の補助役をしておられた渡辺宜嗣(のりつぐ)アナウンサーが、貧困の広がりについて真剣にコメントされた。

渡辺さんは、わたしが十数年前、最初に『朝生』に出たときも、「いいお話でした」と励ましていただいた。社会の片隅で苦しむ人の痛みがわかる方だとおもいます。

渡辺さんのやさしい顔を見て、テレ朝の良心かなと、ちょっとほっこり。

終わって、六本木のスタジオを出ると、外はまだ真っ暗で、風はととても冷たかったです。

## 2018年1月21日 「誠実さにおいて」

評論家の西部邁(すすむ)さんが自殺されたとのこと。どんな思いで…ショックです。

西部さんのテレビ番組に何度か招かれました。「まじめな右派とまじめな左派は、国をおもう誠実さにおいて気が合う」とよくおっしゃっていた。

平気で事実をねじ曲げウソをつく右派「文化

人」が増えるなかで、西部さんは徹底してデタラメを嫌う方でした。恥を知る、ということばを大事にされた。だから、立場はちがっても、議論していて清々しかったです。

西部さんの死によって、右派論壇はますます反知性主義の墮落に陥っていくでしょう。

ここらからご冥福をお祈りいたします。

## 2017年8月31日 「『生まれてきてよかったね』と」

知人の息子さんがこの春からうつで会社を休んでいましたが、医師も家族も復帰は無理と判断し、8月末付けの退職届を郵送で提出されたとのこと。まだ32歳。頑張って有名私大の理工を出た努力家でした。もう頑張らず、人生色々とおもってほしい。

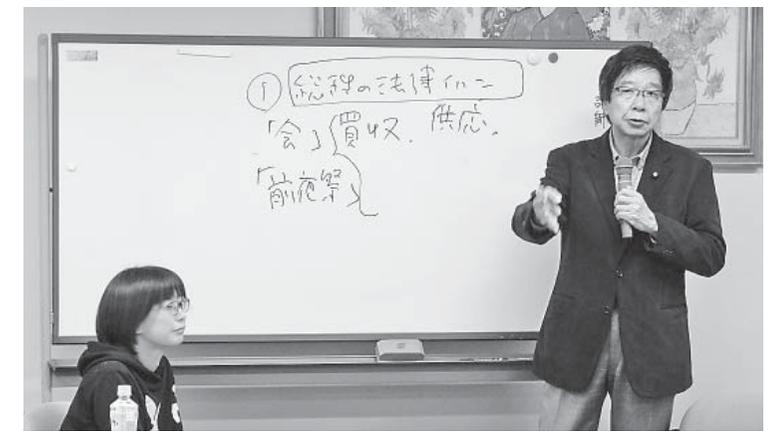
NHKの元アナウンサー、加賀美幸子さんが著書のなかで、いまの子どもたちへのおもいをつぎのように語っておられます。

「『世の中大変なんだ。そんな事で生きられないよ』と子どもたちのお尻を叩くより、『気の遠くなる様な時間の流れの中、大変な確率で、今やっとなんかに生まれてきたんだよ。生まれてきて本当によかったね』と大人は心をこめて子どもたちに伝えたい」(『ここを動かす言葉』)

雑誌『女性のひろば』10月号ではじめての「誌上・大門ゼミ」。

子どもたちに生まれてきてよかったねといえる社会になっているのか、経済が人間を不幸にしているのではないか、そんなおもいでマリリンと話し合いました。

雇用不安をあおり若者を追い込む日本。過労



京都市で

死も後を絶たない。

働く側のたたかひだけでなく、「人間を踏みつけにして企業の発展はない」という声が保守の側からも上がりはじめています。

マリリンの弟さんは、中小企業の若手経営者。苦しい中でも、社員の処遇改善を優先し、会社の「ホワイト」化を推進中です。

理想論ではなく、人間を大事にする企業こそ、未来志向の企業であり、中長期的に発展していくのではないかと。

人の世に熱あれ、人間に光あれ。おかしいことは正される、変えられる。目の前の現実はきびしくとも、希望があることだけは子どもたちに伝えたいとおもいます。

2016年11月18日

## 「きょうの麻生さん、ちょっとカッコよかった」

本日の参院財政金融委員会でのこと。日本維新の会の藤巻健史議員が驚くべき発言をしました。

「さきほど、消費税を上げるよりお金持ちから税金を取れというひとがいたが（わたしのこと）、お金持ちに課税強化しても、数が少ないから代替財源にならない。消費税がイヤなら、いままで非課税だった低所得者をふくめ国民多数から一律に所得税を取るべきだ」

所得の再分配もへちまもない。たんに「金持ちのオレらから税金取るな」としか聞こえませんでした。自民、公明から民進党の議員まで一同あぜん。

答弁を求められた麻生大臣が、ちょっとカッコよかった。

「それは維新の会を代表した意見ですか？ それともあなたの個人的な意見ですか？ 立場がよくわからない。はっきりさせてくれ。それに比べて大門さんの質問はいつもはっきりしてわかりやすい（場内爆笑）」

さらに、「いまの非課税世帯、生活保護の人までふくめて国民多数に税金をかけたら、数が多いのだから税収が増えるのはあたりまえのことではないか。このような場で質問することか」と突き放しました。

暴言、失言の多い麻生さんですが、いままでわたしに一方的に好意を抱いてこられました。きょうはわたしのほうが、少し惚れてしまいました。

## 2016年4月27日 「あたらしいいのち」

あかちゃんは いいにおいがする  
ちっちゃいから しんぞうのどきどきが  
じかにつたわってくる  
あたらしいいのちを  
ゆっくり だかせてもらいました  
しあわせなきもちになり  
いきていてよかったとおもいました  
そうとも きみのいのちは  
みんなでももるよ



『おへそのあな』(長谷川義史)

## 2016年4月26日 「恋の病」

病気からの復帰後、最初の質問がきのうの参院決算委員会でのタックスヘイブン（租税回避地）問題でした。

委員会が始まる前、麻生財務大臣にあいさつしたら、「恋の病で入院してたんだって？」と冗談をいいながら復帰をととても喜んでくれました。「さびしかったよ」とも。

各国の首脳、政治家がタックスヘイブンを利用して課税逃れ、資産隠しをしていた……衝撃の実態を暴露した「パナマ文書」によって、タックスヘイブンが世界的な問題になっています。

この問題は、大企業の課税逃れを許さないという立場で7、8年前から国会で取りあげてきました。こんな「合法的脱税」を許しておいて、さらなる法人税減税、消費税増税など許されるものではありません。

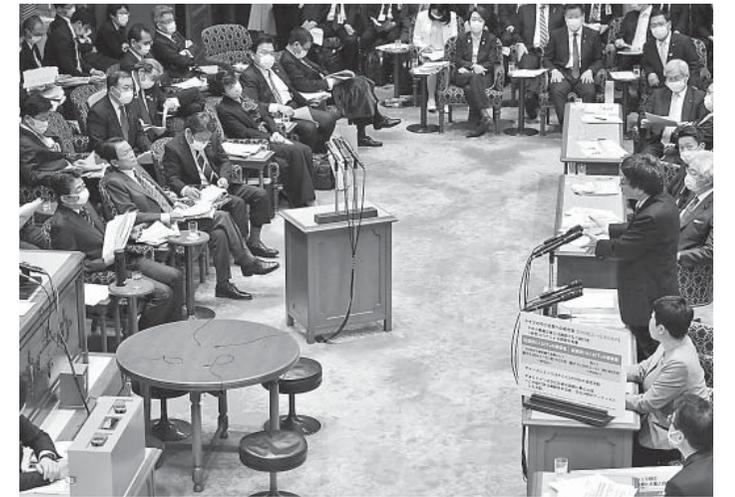
ただ、あまりにグローバルすぎて身近に感じにくい問題のためか、タックスヘイブンにたいするマスコミや国民の関心はあまり高くありませんでした。

しかし多国籍企業が税金を払わないことが各国の財政を圧迫し、社会保障削減、貧困の拡大につながっているという認識が広がり、国際協調で課税強化をという流れがしだいに強まっています。

昨日の参院決算委員会につづき、今日の財政金融委員会でもタックスヘイブン問題を取りあげました。

タックスヘイブンの1つ、英領ケイマン諸島には日本企業などによる証券投資が63兆円もおこなわれています。

その投資収益は約2兆8千億円。しかしそのうち課税対象となったのはわずか1755億円だけ（国税庁資料）。あ



まりに落差がありすぎる。

日本の大企業が英領ケイマン諸島につくった子会社の99%が、事業実態のないペーパーカンパニー。いったい、そこで何がおこなわれているのか？

麻生大臣に課税強化の取りくみを求めると、「おっしゃるとおり、踏み込んだ対応が必要」と、えらくはりきって前向きな答弁をしてくれました。

恋の病は麻生さんだったかも。ちょっとおもってしまいました



大門さんと（左から）参院選挙区候補の、こむら潤（兵庫）、たけやまさいこ（京都）、たつみコータロー（大阪）の各氏